

**相田みつを** 書家・詩人。足利に在住したまま、自分の書・自分の言葉を探求し続け、没後も絶大の人気を保つ。

あいだみつお

護憲三派圧勝1924 = 栃木県足利市で生まれる。

**満州事変**・・・1931 = 7歳：

国際連盟脱退1933 = **9歳**：

**日中戦争始**・1937 = 13歳：栃木県立足利中学校に入学。

**日米開戦**・・・1941 = 17歳：

・・・1942 = **18歳**：卒業。\_歌人山下陸奥に師事して歌誌{一路}に参加。歌会で生涯の師となる禅僧武井哲応と出会い、在家のまま師事して、仏法を学び始める。

創価学会検挙1943 = 19歳：\_書家岩沢溪石に師事。

**敗戦**・・・1945 = 21歳：

**独立回復**・・・1951 = **27歳**：

自衛隊発足・1954 = 30歳：足利市で、\***第一回個展を開催**。{毎日書道展}に初入選。

以後、\_全国各地で"自分の言葉・自分の書"による展覧会を開催し、

**安保闘争**・・・1960 = **36歳**：この年まで、\*{毎日書道展}に6回連続入選。

全共闘・・・1969 = **45歳**：

**石油ショック**1973 = 49歳：

成田衝突・・・1978 = **54歳**：

**中曽根内閣**・1982 = 58歳：

・・・1984 = 60歳：\*「**にんげんだもの**」を出版し、のちにミリオンセラーとなる。

竹下登内閣・1987 = **63歳**：\_「**おかげさん**」，

**ドイツ統一**・・・1990 = 66歳：\_「**一生感動一生青春**」，

**ソ連崩壊**・・・1991 = 67歳：\*「**いのちいっぱい**」と、次々出版したが、足利市内の病院で、脳内出血により没した。

「この人どんな人」，インターネット，